

Environmental Data Auto Monitoring System
e-Dam EBH2-FLD2

屋外用デジタル風速計Ⅱ型

●操作マニュアル●

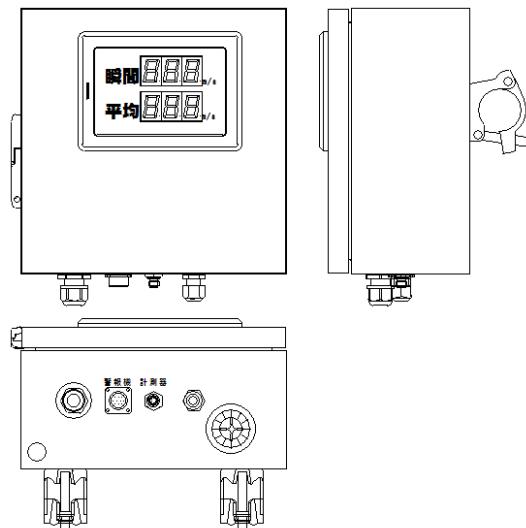
Emborick co.,ltd.

目次

1. 主な仕様	
1-1. EBH2-FLD2の特徴.....	2
1-2. 主な仕様.....	3
2. 各部の名称と機能	
2-1. EBH2-FLD2正面 外観正面.....	4
2-2. EBH2-FLD2下面 外観底面.....	5
2-3. EBH2-FLD2内部 EBH2-FLD2内部.....	6
2-4. EBH2正面 操作パネル.....	7
3. データ記録	
3-1. データ記録の仕様.....	8
3-2. データ記録の開始.....	9
3-3. データ記録の停止.....	9
4. 計測設定	
4-1. 警報の出力の設定変更.....	10
4-1-1. 警報出力の種類を変更する	11
4-1-2. 警報出力するしきい値などを変更する.....	13
4-1-3. 平均風速のサンプリング時間を設定する.....	14
4-2. タイマ機能を使う.....	15
4-2-1. 警報タイマ機能を使う.....	16
4-2-2. データログタイマ機能を使う.....	17
4-2-3. 表示タイマ機能を使う.....	18
5. 本体設定	
5-1. 日時・操作音設定.....	19
5-1-1. 日付設定.....	20
5-1-2. 時刻設定.....	20
5-1-3. 操作音設定.....	21
6. エラーメッセージ.....	22
7. オプション	
7-1. 外部警報灯.....	24
7-2. アプリケーション.....	25

1. 主な仕様

1-1. EBH2-FLD2の特徴



■ オールインワンで簡単設置

EBH2コントロールボックスと風速のLED表示が一体化となったEBH2-FLD2は、運搬や設置も簡単です。

■ 屋外設置可能な防雨仕様

防滴構造（IP65相当）となっており屋外に設置可能です。

※完全防水構造ではありませんので水につかる場所等ではご使用にならないでください。

■ データ記録機能を強化

SDカードへの記録中に電源供給が停止された場合、内蔵バッテリーが働きそれまで記録していたファイルを安全に保存します。

また、データ記録にもタイマー機能をもうけており必要な時間帯のみの記録を行うことが可能です。

■ 警報値を任意に設定可能

警報値を任意に設定可能で、風速の状況がわかりやすくなります。

また、警報機能においてもタイマー機能があり夜間など必要ない時間帯の動作を停止することができます。

※1段と2段の設定はオプションの増設用外部表示器の警報出力でご利用いただけます。

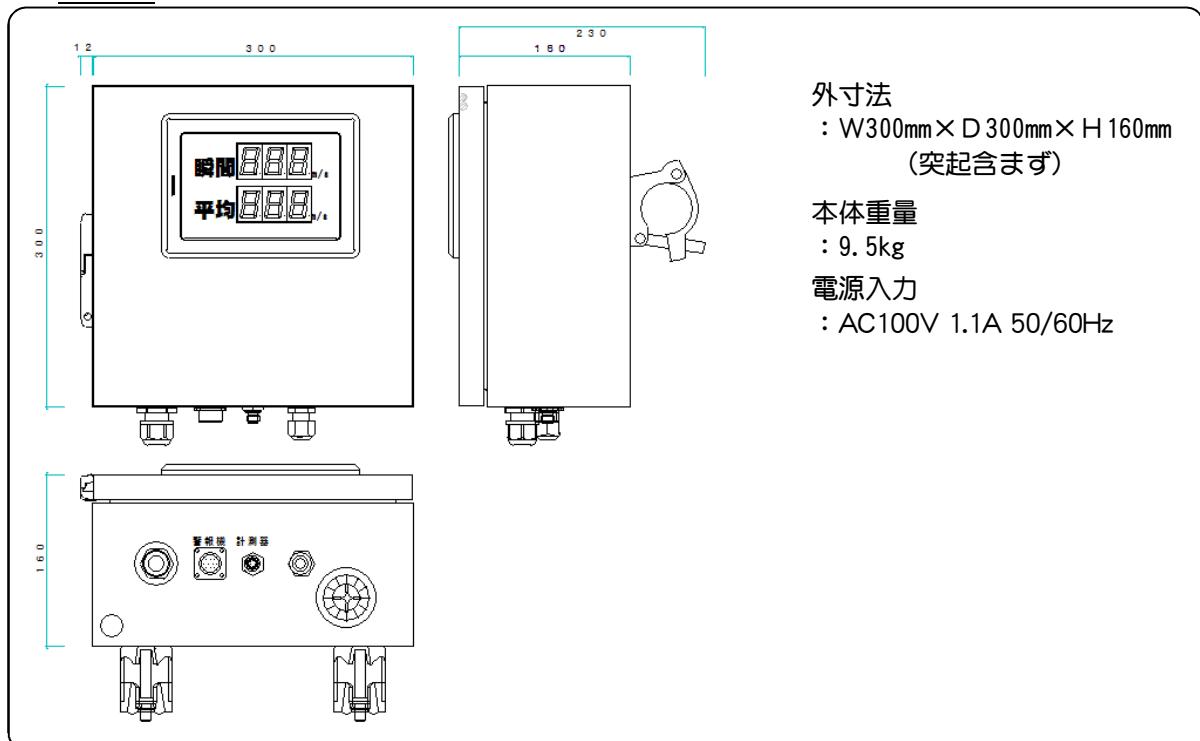
1-2. 主な仕様

■ EBH2-FLD2の動作概要

EBH2-FLD2はEBH2と風速表示器が一体のタイプで、自動に計測器と通信を行い計測値を表示するとともに、規制値を判断し警報出を行います。

■ EBH2-FLD2の概寸図と仕様

概寸図



主な仕様

外寸法	W300mm×D 300mm×H 160mm (突起含まず)
数値文字	風速表示 : H 25.4mm×W 14.7mm × 3桁 (2段)
本体重量	9.5kg
メイ電源部	入力 AC100V 1.1A 50/60Hz
消費電流	100V 0.15A MAX : 0.29A
電源ヒューズ	250V 2.0A ミゼットヒューズ(φ5.2×20mm)
SD/MMCカードスロット	2GB以下のSDカード ※推奨品をご利用ください。 フォーマット形式=FAT16
表示器出力	2ポート 総延長距離500mまで (ストレートLANケーブルを使用してください)
警報出力	接点出力 × 1ポート (専用積層灯用)
電源ケーブル	3芯0.75sq × 2m
通信ケーブル	2芯0.5sq × 30m
発信器 (風杯部)	No.26-SP-ST 発信器 (大田計器製作所製)
日時 保持期間	供給電源なし 約30日間
防水・防塵性	防塵防水規格IP65相当

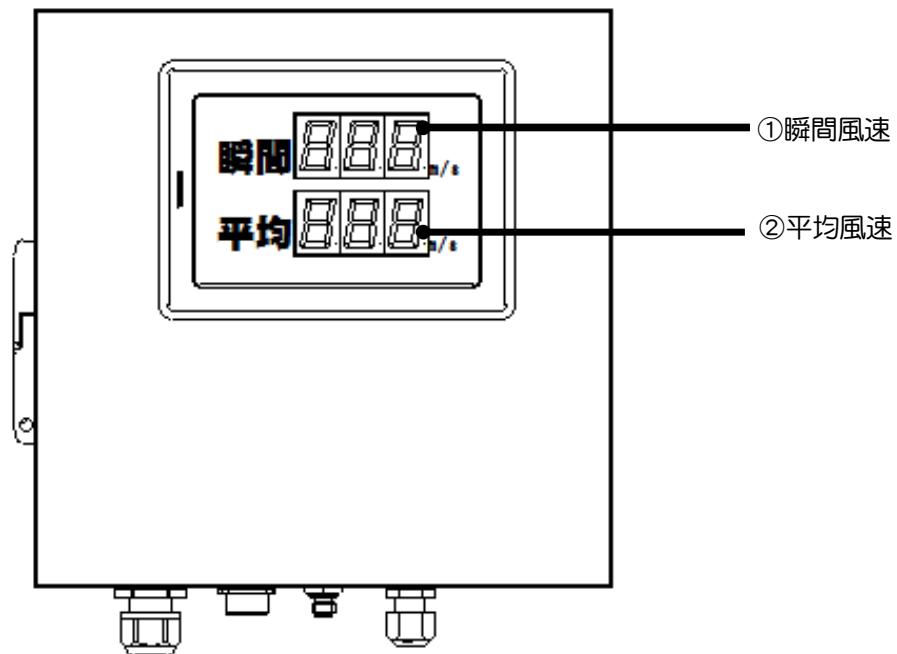
推奨品

SDカード	SUNDISK社製 SDSDB-2048-J95B(2GB)
-------	--------------------------------

2. 各部の名称と機能

2-1. EBH2-FLD2正面

□ 外観正面

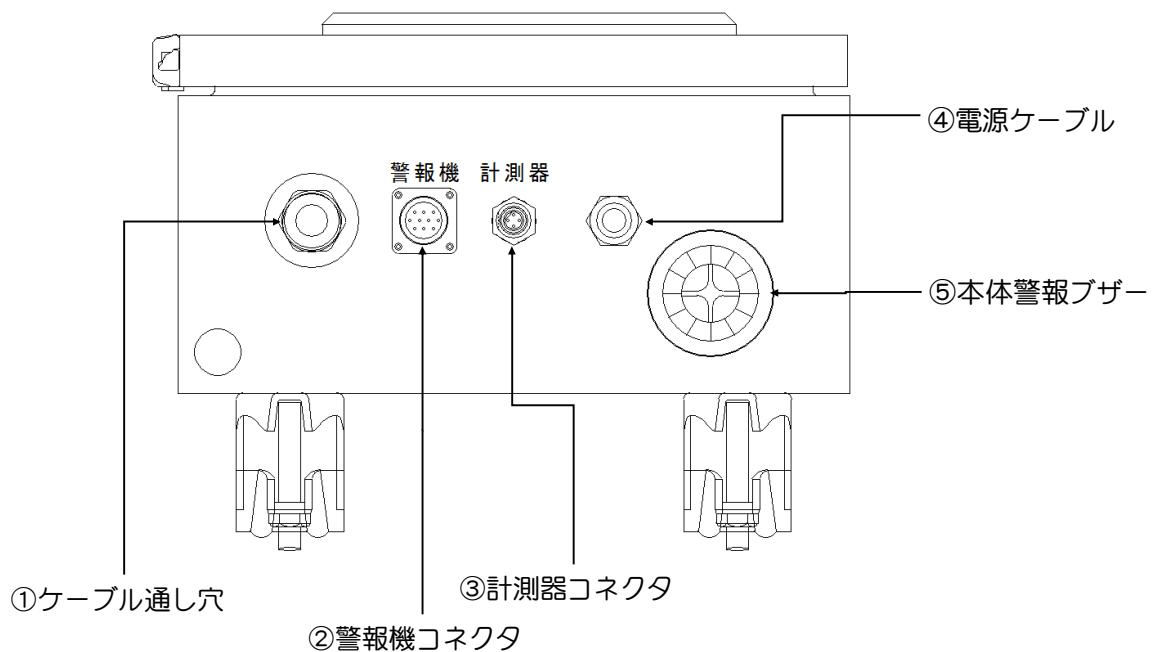


外観正面

名称	説明
①瞬間風速	瞬間風速値を00.0~40.0で表示します。(単位:m/s)
②平均風速	平均風速値を00.0~40.0で表示します。(単位:m/s)

2-2. EBH2-FLD2下面

□ 外観底面



外観底面

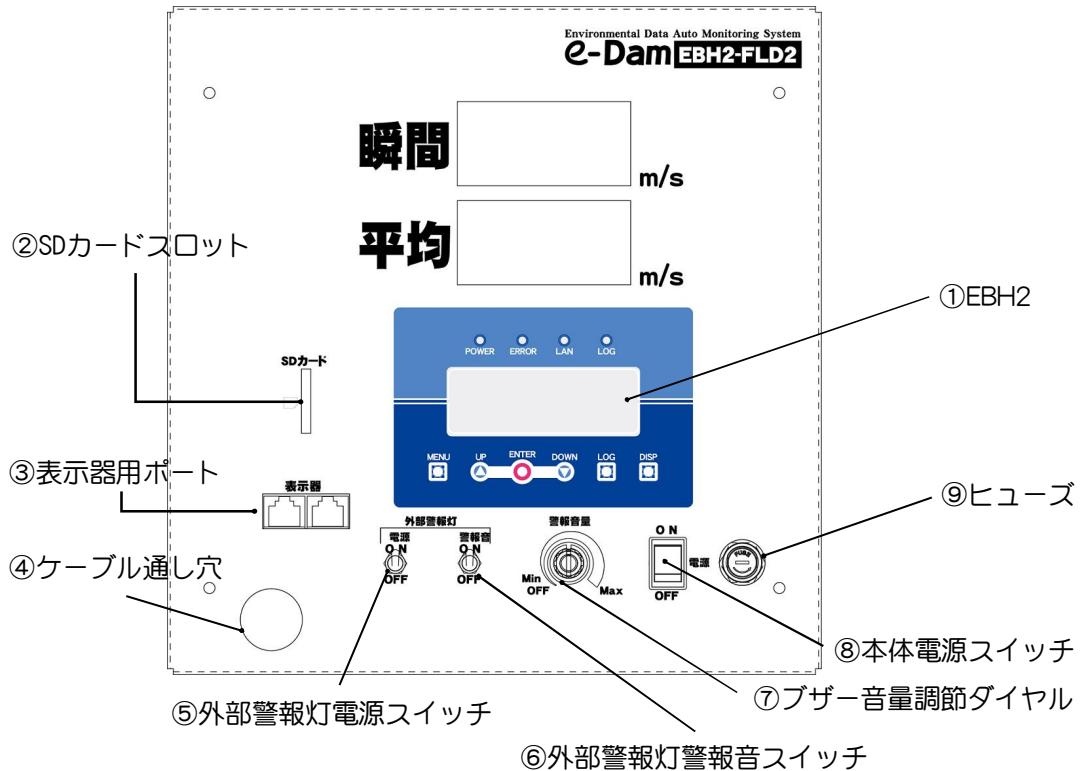
名称	説明
①ケーブル通し穴	外部表示器用ケーブル等の通し穴です。
②警報機コネクタ	外部警報機を接続します。
③計測器コネクタ	風速計を接続します。
④電源ケーブル	電源ケーブルを取り付けています。
⑤本体警報ブザー	本体の警報ブザーです。

重要!!

※外部警報器の接続を行わない時には、必ず付属のキャップを取り付けてください。
※外部表示器の接続を行わない時には、必ずケーブルランドに付属の栓を差し込んでください。

2-3. EBH2-FLD2内部

■ EBH2-FLD2内部



EBH2-FLD2内部

名称	説明
①EBH2	EBH2-FLD2のコントロールボックスです。
②SDカードスロット	SDカードの挿入口です。
③表示器用ポート	増設外部表示器 出力×2 ※総延長距離500mまで (ストレートLANケーブルを使用してください。)
④ケーブル通し穴	表示器用ケーブル等を通します。
④外部警報灯電源スイッチ	外部警報灯の電源スイッチです。
⑤外部警報灯警報音スイッチ	外部警報灯の警報音のスイッチです。
⑥ON/OFFスイッチ付ブザー音量調整ダイヤル	本体警報ブザーの音量調整ダイヤルです。 OFFおよび 90~100 dB (屋外前方 1m)
⑦本体電源スイッチ	本体の電源スイッチです。
⑧ヒューズ	本体の電源ヒューズです。 (250V2A)

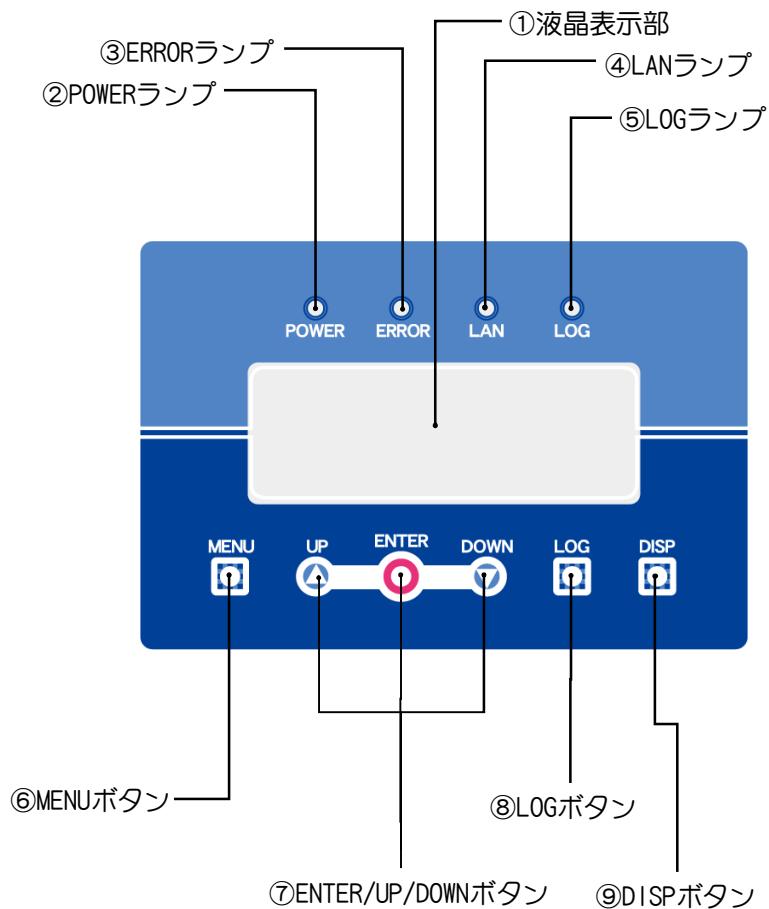
重要!!

※SDカードスロットに濡れたり、汚れているカードを挿入しないでください。

※SDカードはパネル上の印刷の向きに従って挿入して下さい。
基盤が損傷することがあります。

2-4. EBH2正面

■ 操作パネル



操作パネル

名称	説明
①液晶表示部	計測状態や設定メニューなどを表示する画面です。
②POWERランプ	EBH2-FLD2に電源投入されると点灯します。
③ERRORランプ	エラーが発生した場合点滅します。
④LANランプ	ネットワーク通信中に点灯します。(ネットワーク対応タイプ)
⑤LOGランプ	SDカードへのデータ記録中に点灯します。
⑥MENUボタン	設定などを行うときに、メニュー(LCD画面表示)を切り替えるボタンです。
⑦UP/ENTER/DOWNボタン	設定変更を行うときの操作ボタンです。
⑧LOGボタン	SDカードへのデータ記録を開始するときや、停止するときの操作ボタンです。
⑨DISPボタン	計測値の表示(増設用外部表示器も含む)を点灯、消灯するときの操作ボタンです。

3. データ記録

3-1. データ記録の仕様

■ SDカードについて

EBH2-FLD2のデータ記録はSDカードで行います。

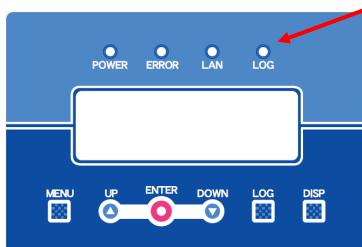
SDカードは 容量2GB以下のFAT16フォーマットされたものを使用してください。

SDカードの取り出す際はLOGランプが消灯していることを確認してからSDカードを押し
「カチッ」と音が鳴りSDカードが少し出したら抜いてください。

重要!!

■ データ記録中のSDカード取り出しに注意

データ記録中にSDカードを取り出した場合、記録したデータファイルが破損する恐れがあります。必ずデータ記録の停止作業を行い、LOGランプが消灯していることを確認してからSDカードを取り出してください。



■ データ記録中における電源切断時の対応

データ記録中になんらかの原因で電源が切断された場合、内蔵バッテリーが作動して記録したデータファイルを安全に保存いたします。電源が復旧した場合、電源切断直前の状態を保持しているため、データ記録は新しいファイルへ自動に再開されます。

■ データファイルについて

データファイルはSDカード内の「EDAMDATA」というフォルダの中に作成されます。

データファイル名は「YYMMDD00.ELD」の日付とログ開始回数で構成されており、1日最高100ファイルまで作成できます。ファイル名は自動に付けられるため設定する必要がありません。

記録されたデータファイルは弊社アプリケーション「e-Damデータ変換【FLD2用】」を使用することで瞬時値や演算値の表示などが行えます。

※SDカードは破損することがあります。ログは溜め過ぎず1週間程度でパソコンに取り込むことをお勧めします。

■ データログタイマー機能

データ記録にもタイマー機能をもつてあり必要な時間帯のみの記録を行うことが可能です。

※参照「4章 4-2-1.データログタイマー機能を使う」

3-2. データ記録の開始

1. コネクタパネル部の「SDカード」にSDカードを「カチッ」と音が鳴るまで挿入します。



2. LOGランプが点滅し、消灯したらSDカードの認識がされます。
※SDカードが書き込みできない場合はエラーが発生しますので、メッセージに従い対応してください。
3. LOGボタンを1秒間長押しします。「ピッ！ ピッ！」と鳴り、LOGランプが点灯すればデータ記録が開始されます。

図3-2-2. 操作パネル

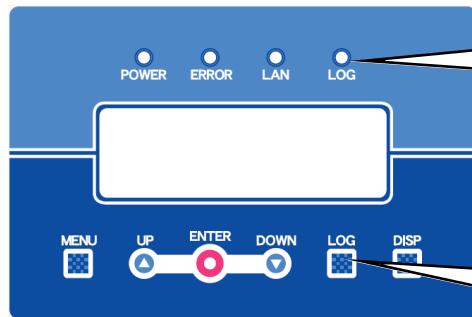


図3-2-3. LOGランプ



図3-2-4. LOGボタン



3-3. データ記録の停止

※SDカードを抜くとき必ず行ってください

1. LOGボタンを1秒間長押しします。「ピッ！ ピッ！」と鳴り、LOGランプが消灯すればデータ記録が停止されます。
2. LOGランプが消灯後、SDカードを安全に抜くことができます。SDカードを抜くときは、SDカードを押し「カチッ」と音が鳴り、少し出ましたら抜いてください。

危険!

データ記録中のままSDカードを抜きますとファイルが壊れことがあります。
必ずデータ記録の停止作業を行ってからSDカードを抜いてください。

重要!!

※SDカードは推奨品をご利用ください。
それ以外の物についてはサポートの対象外になります。

4. 計測設定

4-1. 警報の出力の設定変更

◆警報出力は4つあり、それぞれ独立、連動、同時での出力方法を組合せ可能となっています。

◆出荷時状態では カスタムとなっていますが出力方法と出力内容をお好みの出力方法に変更してご利用頂けます。

◆警報出力の種類は 以下の4通りあります。

●警報出力なし

警報出力をしません

●1段(2系統)

●2段(2系統)

●カスタム

4つの警報出力を独立して設定することが出来ます。

瞬間風速に4つの出力を全て割当てたり、3つと1つ等、変則的な使用方法でも対応可能となっています。

デフォルト値		
警報出力種類 : カスタム		
警報 1	: 1. 平均風速	
	: 閾値	10 m/s
	: 警報時間	3秒
	: サンプリング時間	3秒
警報 2	: 1. 瞬間風速	
	: 閾値	13 m/s
	: 警報時間	3秒
	: サンプリング時間	3秒
警報 3, 4	: なし	

重要!!

※オプションの外部警報灯の最上段（赤）に警報1、2段目（黄）に警報2の値が出力されますので通常はカスタムの設定でご利用下さい。

※1段と2段の設定メニューはありますが変更すると外部警報灯、本体の外部表示灯スイッチ類の誤作動の恐れがあります。

※1段と2段の設定はオプションの増設用外部表示器の警報出力でご利用いただけます。本体の外部表示灯スイッチ類はOFFにして下さい。

4-1-1. 警報出力の種類を変更する

◆警報出力の種類には、以下の4パターンがあります。

必要に応じて変更することが可能です。

初期状態では、カスタム出力となっています。

ナシ：警報出力しません。
1ダン：項目1つに対して2個1組で同時に出力します。
2ダン：項目1つに対して2個1組で別々に出力します。
カスタム：項目と出力を任意の組合せで出力が可能です。

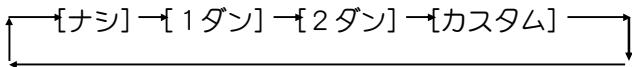


1. 警報出力の種類を変更する場合には、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示します。

2. [メニュー センタク]画面が表示されたらDOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。

3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたらDOWNボタンを押して[ケイホウ シュツリョク シュルイ]を選択し、ENTERボタンを押して選択確定します。

4. [ケイホウ -> シュツリョク シュルイ]画面が表示されますのでUPまたはDOWNボタンを押して設定したい警報種類を表示させます。以下の順で表示が変わります。



5. 希望の出力種類が表示されたら、ENTERボタンを押して確定します。

6. 警報出力種類を変更した場合には、次項の警報出力内容の設定を確認、場合により変更して下さい。

7. 警報出力種類変更前のしきい値等の内容は以下の組合せで新しく設定した警報内容に引き継がれます。

警報1の設定内容 ==> 警報1及び警報2の設定に

警報3の設定内容 ==> 警報3及び警報4の設定に

8. [ケイソク セッティ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

この時、ENTERボタンで確定していない項目は変更されません。

4-1-2. 警報出力するしきい値などを変更する

◆指定した計測データが規制値を超えた場合に警報出力をしますがその時のしきい値等を設定します。

しきい値：警報を出力させる値
範囲 0.0～99.9m
警報時間：警報を出力している時間
範囲 0～9秒
サンプリング時間：しきい値を超えてから警報を出力するまでの時間
範囲 0～9秒

※初期値は以下のように設定されています。

しきい値：瞬間風速13.0m/平均風速10.0m

警報時間：5秒

サンプリング時間：3秒

<<< ケイソク データ >>>
1 フウソク : 1.6 m/s
1 ハイキン : 1.2 m/s
10/01/01 SAT 15:00

<< システム バージョン 1 >>
MAIN Ver. 1.02/FU
LOG Ver. 1.03
NET Ver. -----

<< システム バージョン 2 >>
シリアル No. 04001

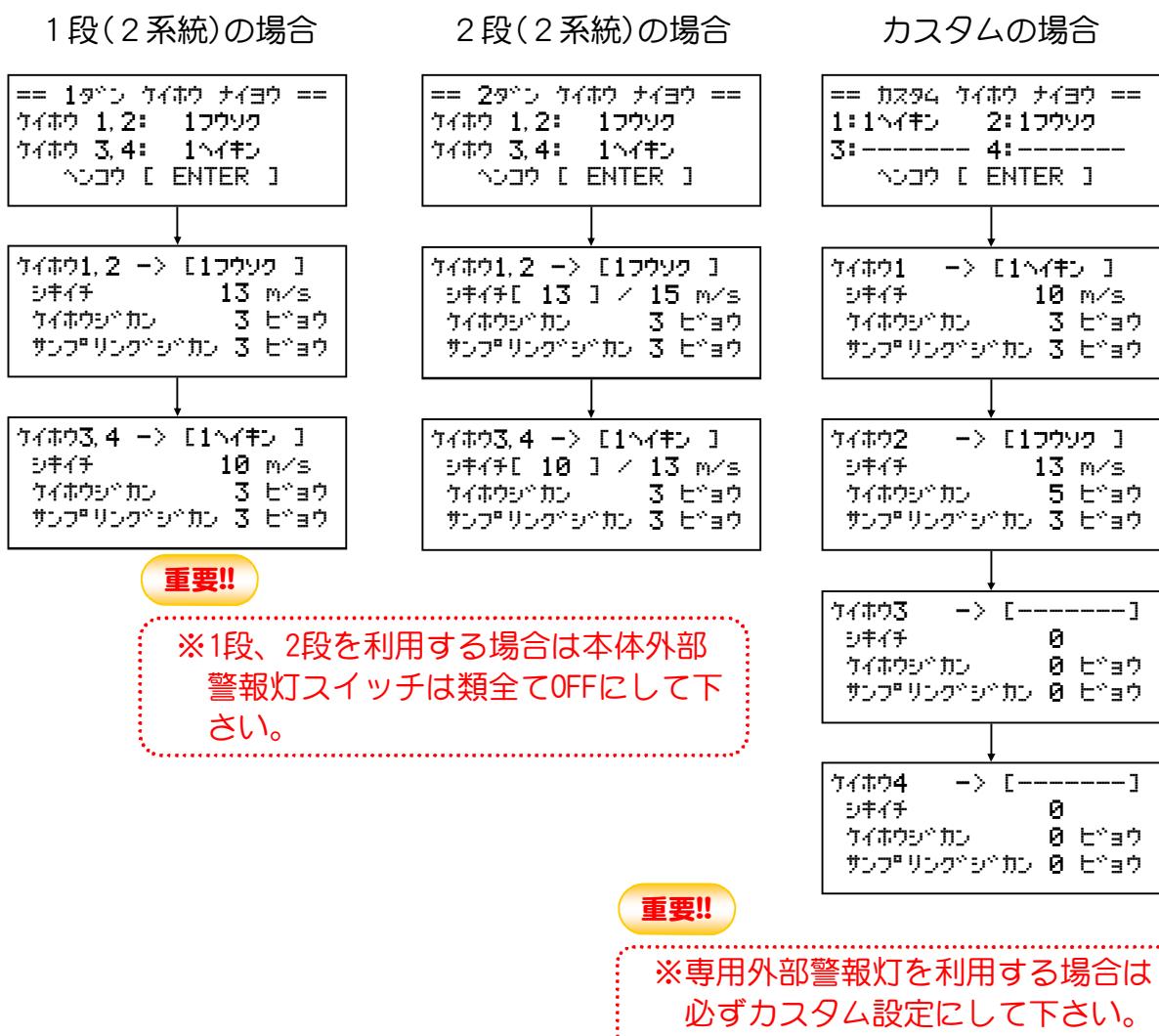
<<< システム ステータス >>>
ケイホウ ON
データ ログ ON
ヒヨウシベキ ON

+++ メニュー センタク +++
ケイソク データ ヒヨウシ
[ケイソク セッティ
ホンタイ セッティ]

+++ ケイソク セッティ +++
タイマー セッティ
ケイホウ シュツリョク シュルイ
[ケイホウ シュツリョク ナイヨウ]

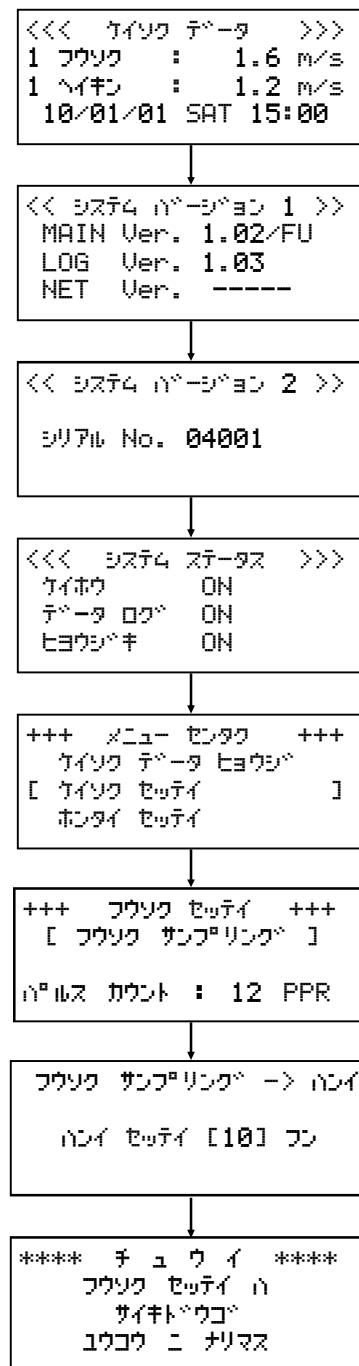
1. 前項の出力種類設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます
2. DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、DOWNボタンを押して[ケイホウ シュツリョク ナイヨウ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
4. この後に表示される画面は、前項の 警報種類に対応した画面が表示されます。
5. [ケイソク セッティ] 以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

6. 各警報内容の画面では、現在設定されている計測器が表示されています。
警報出力に割当てる計測器を変更する場合や、しきい値などを設定する場合にはENTERボタンを押し設定画面を開きます。
7. MENUボタンを押すと 1つ前の[ケイソク セッティ]メニュー画面に戻ります。
8. [ケイホウ ナイヨウ]画面にて変更したい項目でUP又はDOWNボタンを押すことにより設定する値が変更されますので任意の値になった時にENTERボタンを押して確定します。
9. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。警報内容の画面で現在設定されている計測データが表示されます。内容を変更する場合にはENTERボタンを押します。
10. 各項目UP又はDOWNボタンを押すことで設定可能な値が表示されるので希望する値が表示されている状態でENTERボタンを押すことで確定し次の項目に移動します。
11. MENUボタンを押すことで上位の画面に戻ることが出来ます。この場合、確定していない部分の変更是反映されません。



4-1-3. 平均風速のサンプリング時間を設定する

◆平均風速のサンプリング時間を設定します。（1～10分）



1. 前項のしきい値設定と同様、[計測データ表示]画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示させます
2. DOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して選択確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面が表示されたら、MENUボタンを押して[フウソク セッティ]画面を表示させます。
4. [フウソク セッティ]画面が表示されたら、ENTERボタンを押して[フウソク サンプリング -> ハンイ]画面を表示させます
5. [フウソク サンプリング -> ハンイ]画面が表示されたら、UP又はDOWNボタンを押して時間を選択（1～10分）しENTERボタンを押して確定します
6. 時間の設定を変更した場合は再起動メッセージが表示されます。変更を有効にする為、必ず再起動してください。
7. [ケイソク セッティ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

4-2. タイマー機能を使う

◆タイマー機能を使用すると 毎日設定された時間に警報出力、データログ及び表示器のオン／オフをさせることができます。

```
タイマーセッティー → データログ  
タイマーノショウ [ショウスル]  
カイシジベコク 08 : 00  
テイシジベコク 17 : 30
```

夜間 各種動作を停止させてあきたい場合など便利な機能です。

以下の設定が可能です。

警報(出力) :	タイマー機能の有効／無効 及び 有効時の警報動作の開始時刻と停止時刻の設定
データログ :	タイマー機能の有効／無効 及び 有効時のSDカードへ書込みの開始時刻と停止時刻の設定
表示器 :	タイマー機能の有効／無効 及び 有効時の計測データ表示の開始時刻と停止時刻の設定

有効とした場合、毎日 設定された時刻に動作開始・停止を繰り返します。

```
<<< ケイソク データ >>>  
1 フワソク : 1.6 m/s  
1 ハイキン : 1.2 m/s  
10/01/01 SAT 15:00
```

1. タイマ機能を変更する場合には計測データ表示画面から操作パネルのMENUボタンを4回押し[メニュー センタク]画面を表示します。
2. [メニュー センタク]画面が表示されたらDOWNボタンを押して[ケイソク セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定します。
3. [ケイソク セッティ]画面で[タイマー セッティ]を選択しENTERボタンを押して確定すると[タイマー セッティ]画面が表示されます
4. この画面では現在のタイマー機能の状態を表示しています。

```
<< システム バージョン 1 >>  
MAIN Ver. 1.02/FU  
LOG Ver. 1.03  
NET Ver. -----
```

- 使用する : タイマー機能は有効になっています。
使用しない : タイマー機能は無効になっています。
5. 使用する／しないを切り替える場合、あるいは、動作時刻を変更したい場合にはUP又はDOWNボタンを押して変更したい項目を選択しENTERボタンを押して確定します。
 6. [ケイソク セッティ]以降の画面では、MENUボタンを押すと1つ前のメニュー画面に戻ります。

```
<< システム バージョン 2 >>  
シリアル No. 04001
```

```
<<< システム ステータス >>>  
ケイホウ ON  
データ ログ ON  
ヒヨウシベキ ON
```

```
+++ メニュー センタク +++  
ケイソク データ ヒヨウシ  
[ ケイソク セッティ ]  
ホンタイ セッティ
```

```
+++ ケイソク セッティ +++  
[ タイマー セッティ ]  
ケイホウ シュツリヨク シュルイ  
ケイホウ シュツリヨク ナイヨウ
```

```
==== タイマー セッティ ====  
[ケイホウ ] ショウスル  
データ ログ ショウスル  
ヒヨウシベキ ショウスル
```

4-2-1. 警報タイマー機能を使う

◆測定値が規制値を超えた場合にパトライト等を点灯させる警報出力をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	→ ケイホウ
タイマーノショウ	【ショウスル】
カイシシベコク	08 : 00
テイシシベコク	17 : 30

初期値は【ショウシナイ】開始時刻【08:00】停止時刻【17:30】に設定されています。

1. 警報タイマーを設定する場合には、【タイマー セッティ】メニュー画面で【ケイホウ】を選択してENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で【ショウシナイ】とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウシナイ：タイマー機能を使用しません。

測定値が警報値を超えた場合でも警報出力はしません。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になると動作を開始し 測定値が規制値を超えた場合には、警報出力をします。

設定された停止時刻になると動作を停止し 警報出力をしません。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく測定値が規制値を超えた場合には警報出力をします。

4-2-2. データログタイマー機能を使う

◆SDカードへの測定値の書き込み動作をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	→ データログ
タイマーノショウ	[ショウスル]
カイシラバコク	08 : 00
テイシラバコク	17 : 30

初期値は [ショウスル] 開始時刻 [08:00] 停止時刻 [17:30] に設定されています。

1. データログタイマーを設定する場合には、[タイマーセッティ]メニュー画面で [データログ] を選択して ENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたら ENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で [ショウスル] とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウスル：タイマー機能を使用しません。

操作パネルで手動で開始／停止を行う必要があります。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になるとSDカードへの書き込みを開始し
設定された停止時刻になるとSDカードへの書き込み停止します。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく
SDカードへ常に計測データを書き込みます。

4-2-3. 表示器タイマー機能を使う

◆内蔵の表示器、及び オプション接続の外部表示器の表示をタイマーで開始／停止をさせる時に使用します。

タイマーセッティ	→ ヒヨウジキ
タイマーノショウ	【ショウスル】
カイシシベコク	08 : 00
テイシシベコク	17 : 30

初期値は【ショウシナイ】開始時刻【08:00】停止時刻【17:30】に設定されています。

1. 表示器タイマーを設定する場合には、【タイマーセッティ】メニュー画面で【ヒヨウジキ】を選択してENTERボタンを押します。
2. それぞれの項目で、UP又はDOWNボタンを押して希望する値が表示されたらENTERボタンを押して確定します。
3. 確定後は、自動的に次の項目に移動します。

タイマーノショウ で【ショウシナイ】とした場合には、一つ前のメニュー画面に戻ります。その際、開始時刻、停止時刻の変更はされません。

タイマーの使用

ショウシナイ：タイマー機能を使用しません。

表示器は点灯しません。

ショウスル：タイマー機能を使用します。

設定された開始時刻になると表示器が点灯します。

設定された停止時刻になると表示器が消灯します。

開始時刻、停止時刻

24時間表記で設定します。

毎日、設定された時刻に動作開始／停止を繰り返します。

開始時刻より停止時刻の方が早い場合、日をまたいだ動作となります。

開始時刻と停止時刻が同じ場合には、常時有効となり、時刻に関係なく表示器が点灯します。

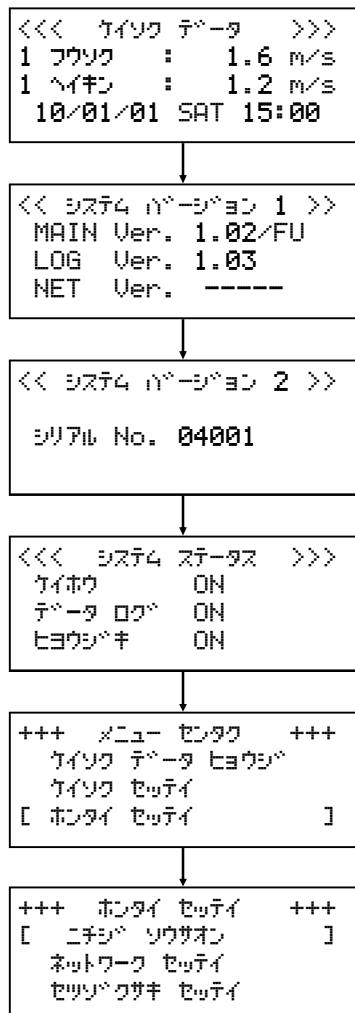
5. 本体設定

5-1. 日時・操作音設定

- ◆本体の各種設定変更を行う場合に使用します。
通常は変更する必要は、ほとんどありません。

日時・操作音：EBH2本体の時刻設定をします。

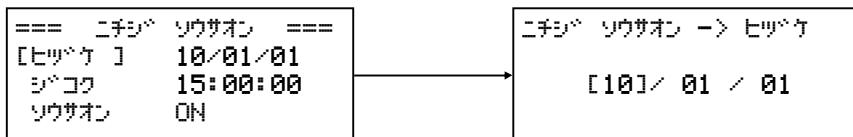
- ・日付や時刻設定機能は、本体内蔵の時計の日付時刻を調整する場合に使用します。
通常変更する必要はありません。
- ・長期にわたり電源を入れなかった場合には、時計用バックアップ電源が空になってしまい日付がリセット(10/01/01)されてしまう場合がありますが、その場合には、電源投入時にメッセージと共に設定画面が表示されますので、そこで設定することが出来ます。



1. 本体設定を変更する場合には計測データ表示画面から操作パネルの MENUボタンを4回押し【メニュー センタク】画面を表示します。
2. 【メニュー センタク】画面が表示されたらDOWNボタンを押して【ホンタイ セッティ】を選択しENTERボタンを押して確定します。
3. 【ホンタイ セッティ】画面で 変更するメニューを選択しENTERボタンを押して確定することで各設定画面が表示されます。

5-1-1. 日付設定

- ◆日付設定機能は EBH2本体内蔵の時計の日付を調整する場合に使用します。
通常変更する必要はありません。



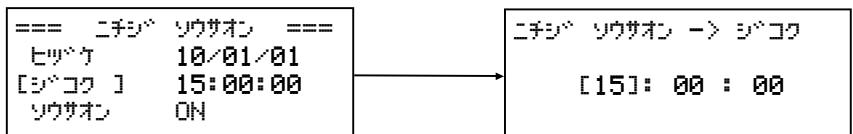
1. 日付を変更する場合には[ホンタイ セッティ]画面で DOWNボタンを押して [ニチジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP又はDOWNボタンを押して[ヒツケ]を選択しENTERボタンを押して確定すると [ニチジ ソウサオン -> ヒツケ]画面が表示されます。

・年で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。(西暦下2桁)
・月で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。
・日で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。
内容を変更しない項目は ENTERボタンで次の項目に移動します。

3. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERボタンで確定していない部分の変更は有効になりません。

5-1-2. 時刻設定

- ◆時刻設定機能は EBH2本体内蔵の時計の時刻を調整する場合に使用します。
通常変更する必要はありません。



1. 時刻を変更する場合には[ホンタイ セッティ]画面で DOWNボタンを押して [ニチジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP又はDOWNボタンを押して[ジコク]を選択しENTERボタンを押して確定すると [ニチジ ソウサオン -> ジコク]画面が表示されます。

・時で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。
・分で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。
・秒で UP 又は DOWNボタンを押してを変更し、ENTERボタンを押します。
内容を変更しない項目は ENTERボタンで次の項目に移動します。

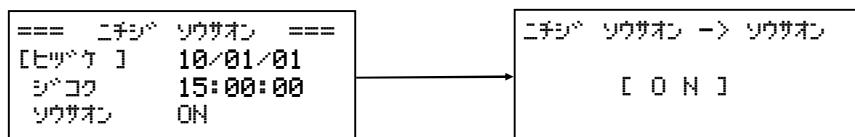
3. [秒]の項目で内容変更後、ENTERを押した瞬間から新しい時間で時計動作が開始されますので詳細な秒合わせにも対応可能です。
4. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERで確定していない部分の変更は有効なりません。

5-1-3. 操作音設定

◆操作音設定機能は 操作パネルのボタンを押した時にブザー音を鳴らすか鳴らさないかを設定する時に使用します。

・操作音を鳴らさない という設定にしても エラーや注意などの何かメッセージがある場合には 警告音等がなります。

・通常は鳴るようにしてあいの方が 操作の判断が分かりやすいと思います。
初期値は、操作音はオン(鳴らします)です。



1. 操作音のオン／オフを変更する場合には[ホンタイ セッティ] 画面で DOWNボタンを押して [ニチジ ソウサオン]を選択しENTERボタンを押して確定します。
2. UP 又は DOWNボタンを押して[ソウサオン]を選択し ENTERボタンを押して確定すると [ニチジ ソウサオン -> ソウサオン]画面が表示されます。
3. オン から オフにする時は UP 又は DOWNボタンを押してを OFF に変更しENTERボタンを押して確定します。
4. オフ から オンにする時は UP 又は DOWNボタンを押してを ON に変更しENTERボタンを押して確定します。
5. 変更を確定すると [ニチジ ソウサオン]メニュー画面に戻ります。
6. MENUボタンを押すと 1つ前のメニュー画面に戻ります。その際、ENTERボタンで確定していない部分の変更は有効になりません。

6. エラーメッセージ

◆EBH2 で発生する各種エラー、注意などの説明をします。

■電源投入時のエラー

*** テーピング エラー ??? *
テーピング ニ イシジョウカバアルタメ
キトウ テキマセン!!

デバイスエラー

EBH2自体 ハード的なエラーです。一度電源を入れなおしてください。それでもエラーが発生する場合には、その場での復旧は不能と思われますので修理となります。

*** ケイソクキ エラー ***
セツリック テキマセン!
ソクテイキ ノ テンケン オヨヒ
セツリック ヲ カクニシテクタサイ

ケイソクキエラー

計測器との接続ケーブルが外れているか計測器自体が
故障している可能性があります。

計測器との接続ケーブルを確認し、電源を入れ直して下さい。

*** ケイソクキ エラー ***
テータシュシン テキマセン!
ソクテイキ ノ テンケン オヨヒ
セツリック ヲ カクニシテクタサイ

ケイソクキエラー

計測器の電源が切れているか接続ケーブルが抜け掛かっています。
計測器との接続ケーブルを確認し、電源を入れ直して下さい。

** ヒツケ シコク エラー **
ヒツケ ト シコク ヲ
セッテイシテ クタサイ
[Enter]

ヒツケジコクエラー

内蔵時計のバックアップ電源が消耗して時計がリセットされました。
時計を設定することでエラー解除されます。
ENTERボタンを押して、時計の設定をして下さい。

エラー -> ヒツケシコク セッティ
ヒツケ [10] / 01 / 01
シコク [00] : 00 : 00
[N O]

ヒツケジコクセッティ

日付と時刻を設定した後、DOWNボタンを押して [YES]を選択して
ENTERボタンを押してください。

■動作中のエラー

***** チュウイ *****
メモリカード カア アリマセン

チュウイ(メモリーカード 無し)

データログのタイマー機能を使用していない状態で、メモリーカード
が入っていない時に表示します。 エラーではありませんが、電源投
入時に 注意を促す為に 3秒間表示します。

***** チュウイ *****
メモリカード カア ヌカレテイマス
メモリカード ヲ イレテクタサイ

チュウイ(メモリーカード 無し)

データログのタイマー機能使用中で書込み停止中に S D カードが抜か
れると表示します。 S D カードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカード エラー ***
メモリカード カア ヌカレテイマス
メモリカード ヲ イレテクタサイ

メモリーカードエラー

データログ 書込み動作中に S D カードが抜かれると表示します。 S D
カードを挿入するか、ログを中止すればエラー解除されます。

*** メモリカード エラー ***
メモリカード カア アリマセン

メモリーカードエラー

S D カードが抜かれている状態でデータログ書込み開始をしようと
した場合に表示されます。 S D カードを挿入するか、ログを中止すれば
エラー解除されます。

***** チュウイ *****
メモリカードノアキカ
スクナクナリマシタ
メモリカードヲイレテワサイ

チュウイ(メモリーカードの空き容量が少ない)
SDカードの残り容量が1/4以下になると定期的に表示されます。
空き容量のあるSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノアキカ
アリマゼン
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(メモリーカードの空き容量がない)
SDカードの残り容量が1/10以下になると表示されます。
空き容量のあるSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノライトプロテクトヲ
カイシヨシテクタサイ

メモリーカードエラー(ライトプロテクトエラー)
ライトプロテクトされたSDカードを挿入すると表示されます。
SDカードの抜き取りでエラー解除されます。

** メモリカードエラー ??? *
メモリカードノカキコミイシヨウ
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(書込み異常)
メモリカードに書込みできなかった時に表示されます。
正常なSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノカミオウテス
コウカンシテ クタサイ

メモリーカードエラー(フォーマットエラー)
対応できないフォーマット(FAT12)のSDカードが挿入された時に表示されます。正常なSDカードを挿入すればエラー解除されます。

*** メモリカードエラー ***
メモリカードノカニリヲコエマシタ
コウカンシテクタサイ

メモリーカードエラー(ファイル数エラー)
何度もログの書込み開始・停止を繰り返した場合などで1日あたりのファイル数が99を越えると発生します。
正常なSDカードを挿入することでエラー解除されます。

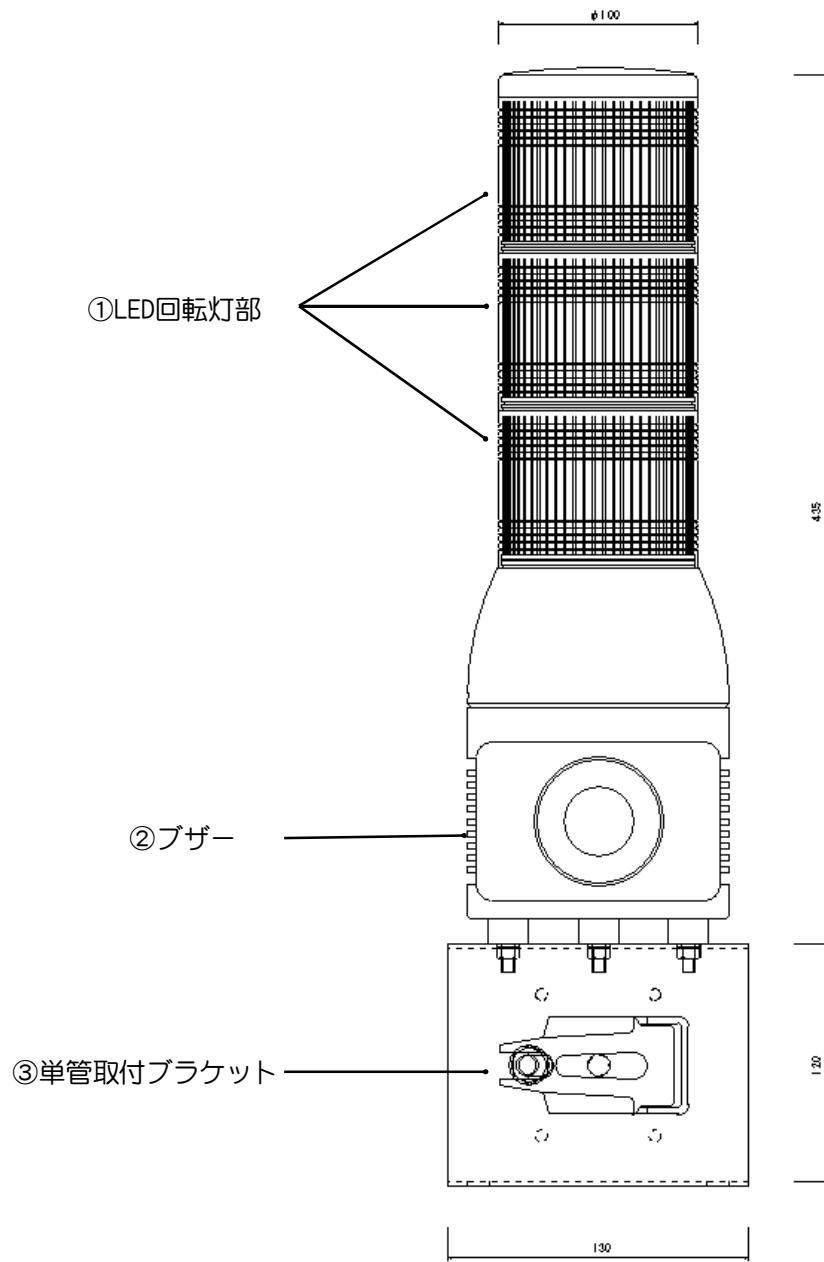
***** チュウイ *****
フツクセッティハ
サイキトウコ
ユウコウニナリマス

メッセージ(再起動の指示)
平均風速のサンプリング時間の設定を変更した場合に表示されます。
変更を有効にする為、必ず再起動してください。

7. オプション

7-1. 外部警報灯

□ 外観図



外観図

名称	説明
①LED回転灯部	赤色（平均風速） 黄色（瞬間風速） 緑色（通電）
②ブザー	回転灯の警報ブザー
③単管取付ブラケット	単管取付用のブラケット

7-2. アプリケーション

① e-Damデータ変換 (FLD2用)

EBH2-FLD2でデータ記録されたSDカードの計測データの瞬時値や演算値の出力などが簡単に行えます。

※各ソフトの詳しい内容に関しましては、お問い合わせください。

第2版 2016年6月1日

販売会社(お問い合わせはこちら)

環境クラウドサービス株式会社 行田営業所
〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地
TEL. 048-550-7080 FAX. 048-557-3421
info@e-cs.co.jp



環境クラウドサービス

メーカー

株式会社エンボリック
〒361-0001 埼玉県行田市北河原705番地
TEL. 048-557-3266 FAX. 048-557-3421

Emborick co.,ltd